

痴呆高齢者に対するPTB免荷装具の作成報告

杉本 浩通

[川村義肢 株式会社]

今回、脛腓骨骨折を起こし、移動に完全免荷が必要な痴呆高齢者に対し寝たきり防止を目的としたPTB免荷装具の製作を行った。「症例・91歳女性 保存療法も試みられたが荷重により転位が著明となり観血的骨接合術を施行された。支持脚の筋力も弱く、健足のみでの立位支持が不可。」通常、骨折部の癒合が不十分な場合ベッド上安静時にはシーネ固定等が必要である。従来の免荷装具の場合、シーネと装具を交換する際、骨折部が不安定となり転位の危険性がある。そこで以下のような工夫を施した。

- ・下腿ファンクショナルブレースを内ソケットとしてベッド上安静時には絶えず装着させるようにし、移乗時に外ソケットとしてPTB免荷装具部を装着するようになった。
 - ・安静時の尖足防止にアンクルスタビライザーを装着する。
 - ・パッテン底も大きくし、どの方向からでも患部に加重がかからないようにした。
- 以上の脱着を容易にまた確実にするための工夫を行った結果、移乗のみだけでな歩行までできるようになり元気に在宅復帰することができた。